

令和1・2年度
県教育委員会指定研究最終報告会

観点を明確にした評価の工夫
～「評価の手引き」の作成と活用を通して～

プログラム

- 1 研究主題設定理由
- 2 研究の目的
- 3 研究計画
- 4 授業改善の方法（理論）
- 5 授業研究会について
- 6 成果と課題

1 令和1・2年度 研究主題設定理由

学習指導要領改訂

教育の目的

育む

主体性・多様性・協働性
学びに向かう力
人間性 など

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

どのように学ぶか
(アクティブ・ラーニングの視点から
の不断の授業改善)

学習評価の充実
カリキュラム・マネジメントの充実

何を知っているか
何ができるか

個別の知識・技能

知っていること・できる
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

1 令和1・2年度 研究主題設定理由

教育の目的

主体性・多様性・協働性
学びに向かう力
人間性 など
どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

どのように学ぶか
(アクティブ・ラーニングの視点から
の不断の授業改善)

学習評価の充実
カリキュラム・マネジメントの実現

何を知っているか
何ができるか
個別の知識・技能

知っていること・できる
ことをどう使うか
思考力・判断力・表現力等

手段

計画

教育課程・
指導計画

実践

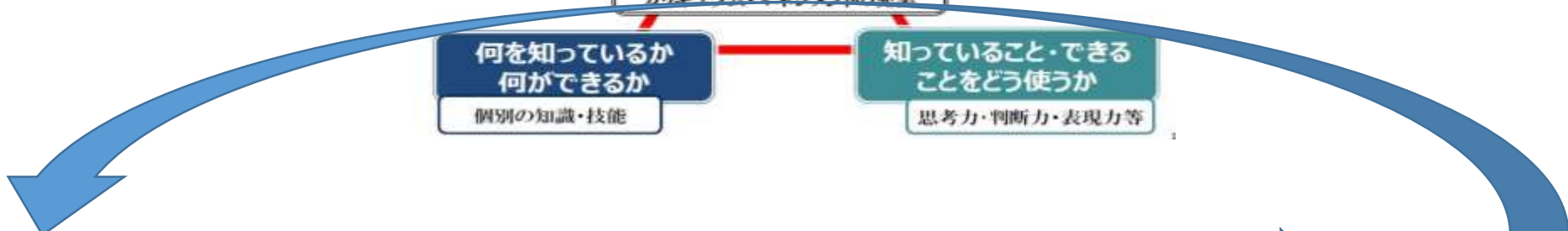
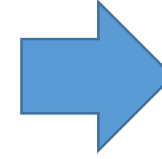
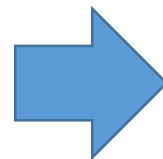
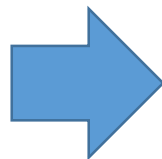
主体的
対話的
深い学び

評価

観点別
評価

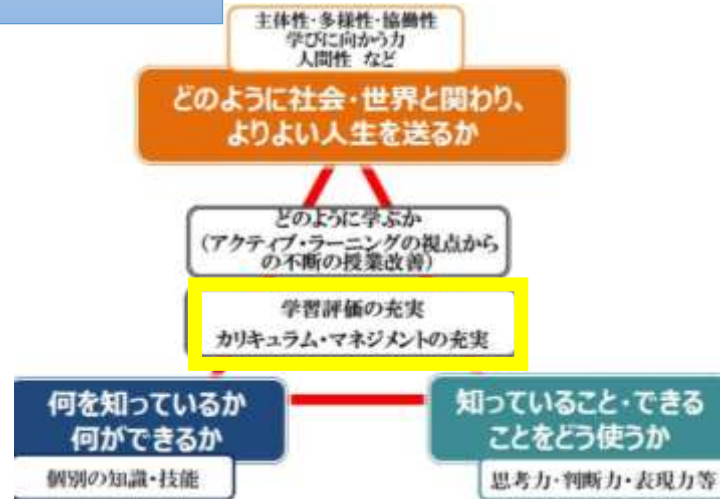
改善

評価を
基にした
改善



1 令和1・2年度 研究主題設定理由

教育の目的



本校の評価に関する課題

● 観点別評価

● 評価の活用

研究主題

観点を明確にした評価の工夫
～ 「評価の手引き」の作成と活用を通して～

2 研究の目的

教育の目的

資質・能力の育成

手段

観点別評価

3

教育課程
改善

2

学習改善

1

授業改善

主体性・多様性・協働性
学びに向かう力
人間性 など

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

どのように学ぶか
(アクティブ・ラーニングの視点から
の不断の授業改善)

学習評価の充実
カリキュラム・マネジメントの充実

何を知っているか
何ができるか

個別の知識・技能

知っていること・できる
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

3 研究計画(長期)

	理論の整理	①授業改善	②学習の改善	③教育課程の改善
一年目	①観点別評価についての理論を整理し、「手引き」にまとめる	①「学習指導案」「評価記録」を基に、授業改善に取り組む。		
二年目	②「手引き」を活用し、観点別評価の理論を定着させていく	②「指導案」「記録」等を活用し、授業改善の方法を整理する	①子ども自身が学習の改善に活用できる方法について探る	①年間指導計画の様式、内容の見直し
三年目	改善	③授業改善の方法を定着させていく	②子ども自身が学習の改善に活用できる方法を整理する	②「授業評価」を基に年間指導計画を作成する
四年目		改善	改善	③「授業評価」を基に年間指導計画の改善に取り組む
五年目				③「評価」を基に教育課程の改善の方法について探る

3 研究計画(今年度)

1 学期

1 観点別評価について 4月

新職員オリエン

2 授業改善のポイント 6月

主体・対話・深い

3 提案授業 7月

小・生単
「コロナ」

2 学期

4 授業実践① 8~10月

授業研究会

5 授業実践② 11~12月

公開授業

6 最終報告会 12月18日

3 学期

7 年計について

次年度の布石

	視点	観点との関連
主体的	<p>学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を 振り返って 次につなげる「主体的な学び」が実現できているかという視点。</p>	「主体的に学習に取り組む態度」
対話的	<p>子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手がかりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているかという視点。</p>	「思考・判断・表現」
深い学び	<p>習得・活用・探求という学びの過程の中で、各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連づけてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているかという視点。</p>	<p>「知識・技能」 「思考・判断・表現」 「主体的に学習に取り組む態度」</p>

4 主体的、対話的で 深い学び

3 観点との
関係

量より質の
学習へ

同じ「知識・技能」でもより質の高い「**使える知識・技能**」
の育成が求められる



知っている
できる

思・判

わかる

思・判

使える

自分で考え、判断する

自ら問題解決、表現する

学習の意義

主体的

見通し
振り返り

宮特の観点別評価に関する課題

昨年度
研究

① 「知識・理解」の弱さ

使える
知識・技能？

② 「思考・判断・表現」
「主体的に学習に取り組む態度」
の評価の難しさ

考え、判断する
場面設定？

③ 子供が学習活動に
評価をいかせていない

子供に伝わる
評価？

授業改善のポイント 6月

主体的、
対話的で
深い学び



宮特の
観点別評価
の課題



宮特の
授業改善
のポイント

- ① 子供が、学習の意義や学習の計画を理解し、見通しを持っているか
(めあてや学習計画の提示の工夫)
- ② 子供が考え、判断する場面があるか
(教わる学習と考える学習のバランスや工夫)
- ③ 子供が振り返り(評価)を通して学びを意識化しているか
(子供に伝わる評価の工夫)

小学部 生単 「コロナ対策を考えよう」

意義

計画

振り返り

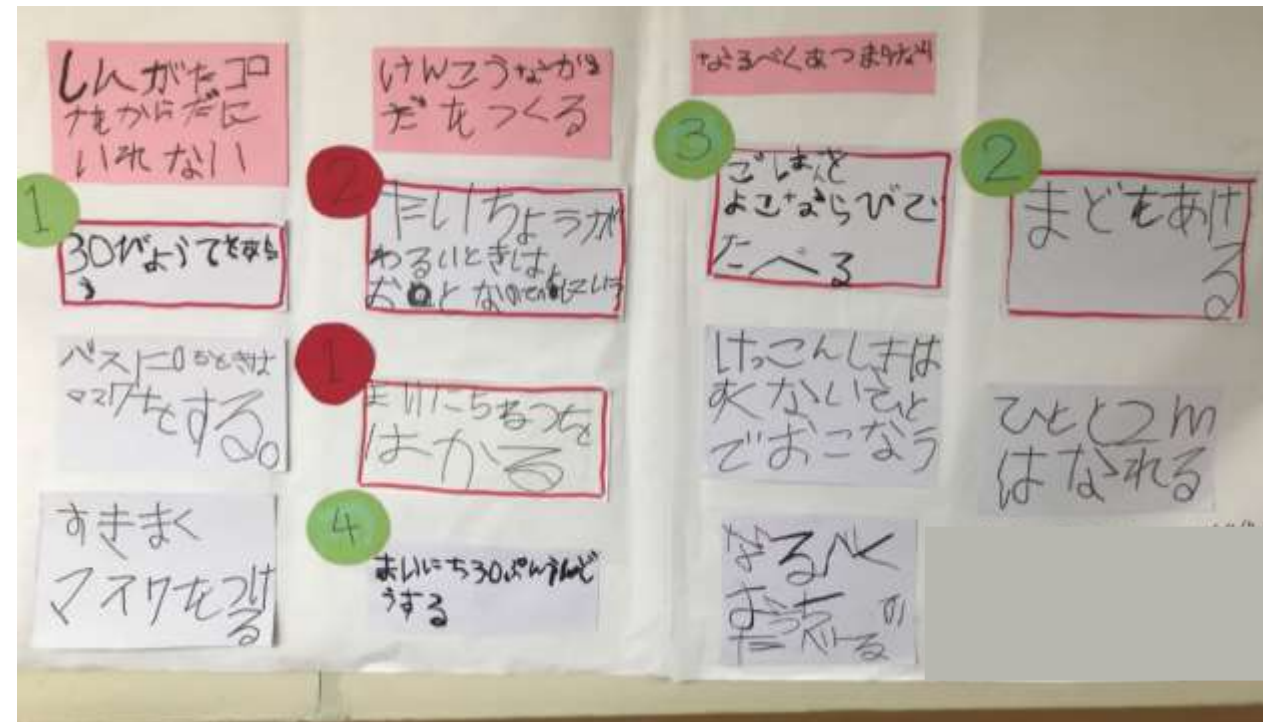
考え・判断する場面

せいかつたんげんがくしゅう□「コロナウイルスのたいさく」

おおきなめあて。
「コロナ・たいさく・を・じぶんで・かんがよう」。

べんきょうのけいかく。

時間	1, 2			3, 4			5, 6, 7, 8			9, 10, 11, 12		
めあて	コロナウイルスについて説明ができる。			コロナウイルスによって、社会がどうか変わったのか説明できる。			これから、どうすればよいのか自分の考えをもつことができる。			自分が知っていることや考えたことについて伝えることができる。		
できたか チェック	J	T	Y	J	T	Y	J	T	Y	J	T	Y
新しく わかった こと・ 大切な こと	・業がない ・めっちゃ や小さい ・病気の 人が重症 化しやすい	・教室にも コロナが いるかも ・疲るとき もコロナに 気を付け る ・東京が 多い	・危ないから 病院で マスク つける ・うつり やすい	・タバコ づくり たい ・なるべく 外に出 ない ・10万 円、申請 書	・業を作り たい ・マスクを 作る ・10万 円、給付 金 ・安部総 理	・マスクを つける ・手洗い うがい ・給付金 申請難し かった。	・窓を開 ける ・毎日熱 を測る	・30秒手 を洗う ・体調が 悪いとき は大人の 人に言う ・2m離れ る	・バスに乗 るときはマ スクをする ・なるべく お家で食 べる ・毎日熱を 測る	・模造紙 に書くこと が難しか った ・きちんと 前を見て 撮影する	・撮影時 はピンと 立ってる 方がかつ こいい ・「たおそ うがおも しろかつ た。」	・スケー ルバス に乗った のが楽し かった。



5 授業研究会

目的

観点別評価の実現を目指した授業改善の取り組みについて学ぶ。

協議の柱

- ① 学習の意義や学習の計画の理解。
- ② 考え、判断する場面設定
- ③ 振り返りを通した学びの意識化

方法

4～6名グループの話し合い



5 授業研究会

全員が必ず
発言する

授業者は後
から参加する

付箋紙の
活用



6 成果と課題(アンケート調査)

問1 研修を通して観点別評価に関する知識・理解は深まりましたか？

変わらない
2%

深まった
33%

少し深まった
65%

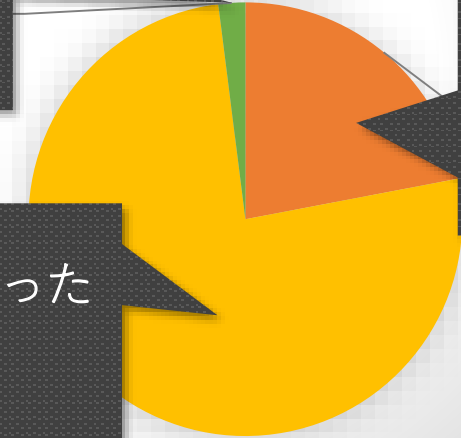


問2 前年度に比べて観点を明確にした評価をすることができましたか？

できなかった
2%

できるようになった
22%

少しできるようになった
76%



成果

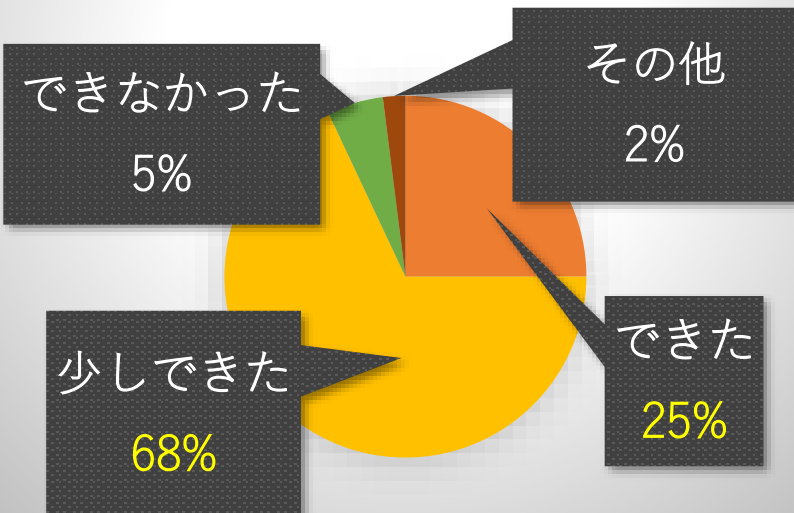
観点を明確にした評価
をすることができるよう
になった

課題

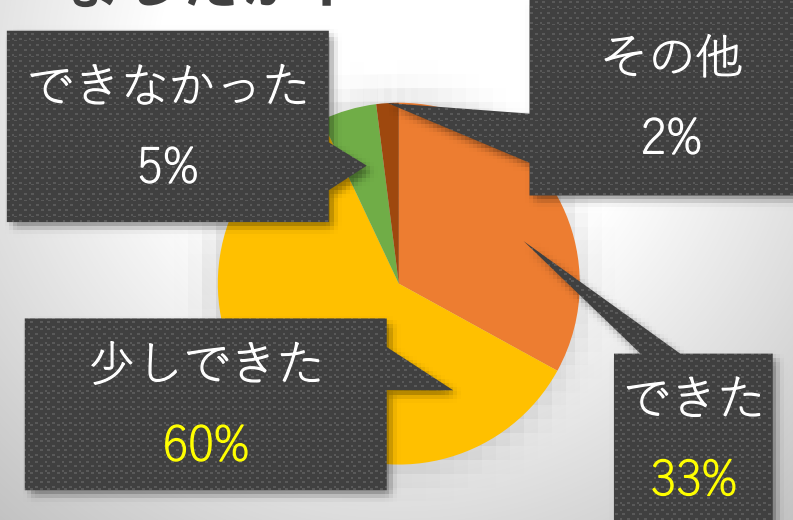
少し

6 成果と課題(アンケート調査)

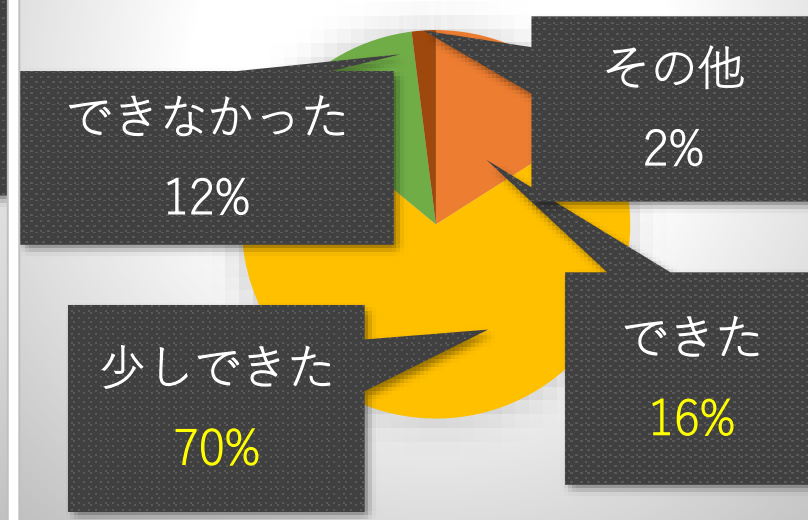
問5 前年度に比べ、子どもたちに**学習の意義や計画の提示の工夫**をすることができましたか？



問6 前年度に比べ、子どもたちが、**考え、判断する場面設定の工夫**ができましたか？



問7 前年度に比べ子どもたちが**振り返りを通した学びの意識化の工夫**をすることができましたか？



成果

宮特授業改善のポイントを押さえた授業実践に取り組むことができた

課題

振り返りを通した学びの意識化の方法を探る

6 成果と課題

成果

評価の手引き
(案)

観点を明確にした評価をすることが少しできた

主・対・深
理論研究

宮特授業改善のポイントを押さえた授業実践に取り組むことができた

授業
研究会

振り返りを通じた学びの意識化の方法について探る

次の
ステップ

観点別評価を生かした教育課程の改善に取り組む

課題